

2024年5月12日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会
第67巻第7号(通算3389号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

^{ちい}小さくされて^{ひと}いる人を
^{たいせつ}大切に^{きょうかい}する教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書11:25)



家族の日礼拝

^{かぞく} ^ひ ^{れいはい}
(復活節 第7主日礼拝)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

^{ぜんそう} ^{もくとう}
前奏(黙祷)

AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね} ^{ことば}
招きの詞

^{しへん}
詩編

^{へん} ^{せつ}
46編 2-4節

^{さんびか}
賛美歌

21-8番

「心の底より」(©讚美歌委員会)

^{せいしよ}
聖書

^{れつおうき} ^げ
列王記(下)

^{しょう} ^{せつ}
2章 1-15節

^{いの}
お祈り

^{さんびか}
賛美歌

21-336番

「主の昇天こそ」(©讚美歌委員会)

メッセージ

「独り立ちの準備」

^{みずたに} ^{けん} ^{ぼくし}
水谷 憲 牧師

^{さんびか}
賛美歌

21-96番

「恵みあれしもべらに」(1・5節のみ)(©JASRAC)

^{しゅ} ^{いの}
主の祈り

21-62番

「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

^{ささげもの}
献げ物(*)

^は ^{けん}
派遣

21-91番

「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

^{しゅく} ^{ふく}
祝福

^{みずたに} ^{けん} ^{ぼくし}
水谷 憲 牧師

^{こう} ^{そう}
後奏

アーメン コーラス (21-40-6番)

(©教団讚美歌委員会)

^{ほう} ^{こく}
報告

(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 46編 2-4節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

²神は我らの逃れ場、我らの力。／苦難の時の傍らの助け。

³それゆえ私たちは恐れない／地が揺らぎ／山々が崩れ落ち、海の中に移るとも。

⁴その水が騒ぎ、沸き返り／その高ぶる様に山々が震えるとも。

聖書 列王記 下 2章 1-15節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹主がエリヤをつむじ風で天に上げられたときのことである。

エリヤはエリシャと共にギルガルから出て行った。²エリヤがエリシャに、「主は私をベテルまで遣わされるが、あなたはここにとどまっていなさい」と言うと、エリシャは、「主は生きておられ、あなたご自身も生きておられます。私はあなたを離れません」と答えた。それで彼らはベテルに下って行った。³この時、ベテルにいる預言者の仲間が、エリシャのもとに出て来て言った。「今日、主があなたの主人を、あなたから取り去ろうとしておられるのを知っていますか。」するとエリシャは、「私もそのことは知っています。しかし黙っててください」と答えた。

⁴エリヤが、「主は私をエリコに遣わされるが、エリシャよ、あなたはここにとどまっていなさい」と言うと、エリシャは、「主は生きておられ、あなたご自身も生きておられます。私はあなたを離れません」と答えた。それで彼らはエリコにやって来た。⁵この時、エリコにいる預言者の仲間が、エリシャに近寄って来て言った。「今日、主があなたの主人を、あなたから取り去ろうとしておられるのを知っていますか。」するとエリシャは、「私もそのことは知っています。しかし黙っててください」と答えた。

⁶エリヤはエリシャに、「主は私をヨルダン川へ遣わされるが、あなたはここにとどまっていなさい」と言った。エリシャは、「主は生きておられ、あなたご自身も生きておられます。私はあなたを離れません」と答えた。それで二人は出かけて行った。⁷預言者の仲間五十人も付いて行ったが、二人がヨルダン川のほとりで立ち止まると、彼らも遠く離れて立ち止まった。⁸エリヤが自分の外套を取り、丸めて水を打つと、水は左右に分かれた。そこで二人は乾いた所を渡って行った。

⁹彼らが渡ったとき、エリヤはエリシャに言った。「私があるあなたのもとから取り去られる前に、あなたのために何ができるだろうか。何なりと願いなさい。」エリシャが、「どうかあなたの霊の二倍の分け前をくださいますように」と言うと、¹⁰エリヤは答えた。「あなたは難しい願いをするものだ。私があるあなたのもとから取り去られるのを見るならば、そのようになるであろう。しかし見なければ、そのようにはならないであろう。」¹¹彼らが話しながら歩き続けていると、火の戦車と火の馬が二人の間を隔て、エリヤはつむじ風の中を天に上って行った。¹²エリシャはそれを見て、「わが父よ、わが父よ、イスラエルの戦車よ、その騎兵よ」と叫んだ。しかしエリヤはもはや見えなかった。彼は自分の衣をつかんで、二つに引き裂いた。

¹³エリシャは、エリヤの身から落ちた外套を拾い上げ、引き返してヨルダン川の岸辺に立ち止まった。¹⁴彼はエリヤの身から落ちた外套を手にとって、水を打ち、「エリヤの神、主はどこにおられますか」と言った。彼が水を打ったときも、水は左右に分かれ、エリシャは渡って行った。

¹⁵エリコの預言者の仲間は、離れた所からエリシャを見ていて、「エリヤの霊がエリシャの上にとどまっている」と言った。

《先週のメッセージより》5月5日 復活節第6主日礼拝

「あなたは独りではない」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 16章25-33節

今回のお話は、イエス様が敵対者たちによって逮捕される前、「最後の晩餐」の席で弟子たちに対して語られた長い「お別れの言葉」の一部でした。自分はこれから逮捕され、十字架刑で殺されていくだろうその時に、イエス様は弟子たちに対して「あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。私はすでに世に勝っている」(33)と断言されました。どうしてそれだけ力強く断言することが出来るのか。なぜならそれは「私は独りではない。父が、共にいてくださるからだ」(32)。この「私は独りではない」というイエス様の言葉は、全ての人々のことも表していますから、この言葉は同時に「あなたは独りではない」と言い換えることも出来ます。とはいえ、この事を私たちは普段どれだけ事実として受け止め、信頼しているでしょうか。それこそすぐ隣にあるのに目に入っているも見えておらず、耳に入っているも聴こえておらず、気付いていない、ということはないでしょうか。

聖書は「善いことをした人には善いことが起こり、悪いことをした人には悪いことが起こる」という「因果応報」の考え方を否定しています。むしろ聖書が一貫して伝えているのは、いつでも、どこでも、どんな境遇にあっても、命の神はあなたと共にいてくださるということです。クリスマスに生まれたイエス・キリストは、「インマヌエル（我らと共にいる神）」と呼ばれる方でした。私たちの日々の生活の中では、万事が順調に行くことばかりではありません。恐れったり、迷ったり、悩んだりすることがたくさんあります。それでも「神様が共にいてくれるから、自分は独りじゃない。だから思い切ってやってみよう」と思って決断し、行動することが出来た。一人一人のそういう小さな事実の一つ一つの積み重ねが、歴史を形作り、今に至っているのではないかと思います。自分の力で様々な事が出来る時には、神様の存在を忘れていたり、気付いていなかったりするのかもしれませんが、自分の力の限界を感じたり、予期せぬ状況に陥ったりした時には、自分を超越する神様にすがりたくなったりします。しかし、私たちの思いや態度を越えて、命の神はこれまでも、今も、そしてこれからも、いつも共におられます。「私たちは独りではありません」。だからあなたもまた、決して独りではありません。その事実を全身で感じ取り、そして受け止めながら、私たちは今日もここから神様と共に歩みを進めて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 5月5日 復活節第6主日礼拝

礼拝出席 大人4名 献金 大人4,000円 中継視聴者数5回
 礼拝後に、5月期の「教会を考える会」を開催いたしました。

感謝



◎次週 2024年5月19日(日) ペンテコステ(聖霊降臨日) 礼拝

招きの詞 ヨハネによる福音書 14章 17節

聖書 使徒言行録 2章 1-13節

メッセージ 「立場から解き放たれて」牛田匡牧師

賛美歌 「世の初め鳥のように」、21-290、21-346 (3曲とも©JASRAC)

礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けしてお配りさせて頂く予定です。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・本日、柏原市にある特別養護老人ホーム「第二好意の庭」にて、4月から延期されていた「感謝祝福式」が開催されています。(司式：牛田匡牧師)
- ・5月18日(土) 新町北公園にて、「ラファ攻撃やめろ！」御堂筋デモがあります。主催は関西ガザ緊急アクションです。14時~15時にかけて公園にて集会があり、15時10分から難波までデモがあります。1948年5月15日のイスラエル建国に伴い、400以上のパレスチナ人の村が強制退去の対象となり、各地で虐殺が起きた真実を語り継ぐため、毎年5月15日はアラビア語で「大災厄」を意味する「ナクバ」の日として記憶されています。その76年目の今、世界と連帯して抗議のデモ行進をしよう。
- ・5月18日(土) 17時から東梅田教会にて「第16回ペンテコステヴィジル」が開催されます。カトリック教会、ルーテル教会、聖公会など教派を越えて、共に聖霊降臨日の前夜の礼拝をいたしましょう。事前申し込みは不要ですので、どなたでも直接当日会場にお越しください。参加費も不要ですが、席上献金があり、それらは能登半島沖地震緊急救援募金に献げられます。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
5/19	牛田匡牧師	ペンテコステ礼拝 おにぎり支援
5/26	水谷憲牧師	誕生者祝福式
6/2	牛田匡牧師	ユーカリスト 教会を考える会
6/9	水谷憲牧師	(教会創立記念礼拝) 花の日こどもの日

第16回 ペンテコステヴィジル



～聖霊降臨日前夜の礼拝～

「ペンテコステ」はギリシャ語で「50」の意味で、キリストの復活から50日目を表し、「ヴィジル」は「晩祷」という意味です。

日時：2024年5月18日(土) 午後5時

場所：日本基督教団東梅田教会

大阪府大阪市北区野崎町9-6

説教：竹田大地牧師(日本福音ルーテル天王寺教会)

司式団 ロッコ・ビビアーノ神父(カトリック大阪高松大司教区)
 内田 望牧師(日本聖公会大阪教区)
 東島 勇人牧師(日本基督教団)
 井上 隆晶牧師(日本基督教団)

この礼拝は、エキュメニカルな諸教会の交わりと一致の具体化をめざし、カトリック教会、日本聖公会、日本福音ルーテル教会、日本基督教団の有志が中心に行っていますが、教派に関係なくどなたでもご参加ください。



主催：聖霊降臨日前夜の礼拝実行委員会
 後援：大阪キリスト教連合会

- 席上献金があります。献金は日本基督教団社会委員会を通して「能登半島沖地震緊急救援募金」に献げられます。
- 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 【アクセス】
 地下鉄谷町線 東梅田駅
 地下鉄四つ橋線 西梅田駅
 地下街「ホワイティうめだ」泉の広場 M14 出入り口を出てください。道なりに原町通をまっすぐ進み、4つ目の信号「神山」交差点を渡って右折してください。約50メートルほどで東梅田教会に到着します。神山交差点で右斜めを見上げると教会の鐘楼が見えます。